

2017年第4回定例会の報告

日本共産党 横浜市議団



大貫憲夫 (青葉区) 岩崎ひろし (戸塚区) 宇佐美さやか (神奈川区) 古谷やすひこ (鶴見区、副団長) あらき由美子 (南区、団長) 白井まさ子 (港北区、副団長) かわじ民夫 (旭区) みわ智恵美 (港南区) 北谷まり (保土ヶ谷区)

市会交渉会派の態度

請願内容に賛成○ 反対×

請 願	共産	自民	民進	公明	採決結果
学童保育の充実・発展について	○	×	×	×	不採択
保育・子育て支援施策の拡充等について	○	×	×	×	不採択
市予算による少人数学級の拡大等について	○	×	×	×	不採択
横浜市立中学校における給食の実施について	○	×	×	×	不採択
横浜市立小学校給食調理業務の直営存続等について	○	×	×	×	不採択
子供たちの放課後の居場所の充実について	○	○	○	○	採 択
横浜市における教育予算の充実について	○	○	○	○	採 択
市会議員の疑惑解明のための調査特別委員会の設置について	○	×	×	×	不採択
市会議員の疑惑解明等について	○	×	×	×	不採択

横浜市会第4回定例会が

2017年12月5日～19日に開かれました

39件の市長提出議案と、議員提案の国への意見書2件、すべて賛成多数で可決しました。29万筆にも及ぶ学童保育の充実・発展を求める請願など、市民要望を反映した多くの請願は、自民、民進、公明などによって、不採択となりました。

日本共産党横浜市議団は、22件の議案に賛成し、市民のくらし最優先の立場で、就学援助の入学準備費の入学前支給、生活保護説明チラシに於る保護申請抑制表現の是正、高すぎる国保料の値下げなど、林文子市長に迫りました。



就学援助の中学入学準備費 が入学前支給へ ついに市長が提案、 市民要望が一步前進

7月から入学前の3月支給へ

経済的な理由で就学援助を受けている家庭に支給する中学生の入学準備費は、本年から入学前の3月に支給されることになりました。小学校は来年からです。これまでは入学後の7月支給でした。

入学前の支給実施は、国会では、日本共産党の畑野君枝衆院議員が文科省に迫り、横浜市政では昨年2月の本会議であらき由美子党市議団長が「入学して

から支給していたのでは入学準備金といえない」と前倒し支給を要求していたものです。

入学準備費の対象は、中学に入学するにあたって必要となる学用品及び通学用品の、かばん、上ばき、通学用服、くつ、雨具などです。支給額は47,400円です。

支給時期と支給額の改善を

今回の中学入学前支給は、経済的な困難を抱えるご家庭の

切実な要望が一步前進したものといたします。しかし、各家庭の入学準備が始まる時期は3月よりもっと早く、実際の入学準備費は、支給額の倍の金額がかかります。大和市は12月、海老名市では1月に支給しています。支給時期と支給額の改善が必要です。

申請は教育委員会へ 直接できるように

また、就学援助の申請書を校

長を経ないで教育委員会に提出することができるとなりました。しかし、それは教育委員会が必要と認める場合という条件つきです。個人情報や学校に知られたくない保護者にとっては、提出先が学校という現行制度は問題です。多くの自治体にならって横浜市でも、条件なしで直接教育委員会への提出ができるように改善が必要です。